



Rotary International District 2650 Nara Japan
奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
■会長：富川 悟 ■副会長：小西敏文 幹事：植村将史



NOMC第140回「三峰山 1235.4m」

1496回例会

<会長報告>

まず第一点目は、先週の土曜日（2/20）、県下RCの会長幹事会がございました。私共奈良大宮RCがホストでやらせて頂きました。そのメイン議題は先日来ご案内しております通り、平城遷都1300年祭に対するRCとしての取り組み方ということで、色々討論致しました。その中で当クラブから提案を致しました、各クラブが4～11月までの期間中に平城宮跡の会場内に於いて、例会その他催し物を開いてRCとして1300年祭を大いに盛り上げようじゃないか、というプランを提案し、全クラブの賛同を得、正式に実施することが決定いたしました。これも案内済みですが、私共奈良大宮RCも、5月15日平城宮跡の奈良文化財研究所の講堂をお借りして、友好クラブの恵比寿RCまた太宰府RCとの合同例会並びに会場見学会（昼の部）、北河原氏のお祝い会を兼ねた懇親会（夜の部）を行うということで進んでおります。詳細につきましては決まり次第ご案内していきたいと思っております。もう一点ですが、ボランティアガイド（その会場内での受付等のお世話をするボランティア）ですが、協会の方から何とか参加して下さいということで要望があり、それにつきましても何らかの形で参加しましょうということで決まりました。現在、具体的な事については私共の社会奉仕委員長の高野さんの方で、日程等色々な事を詰めて頂いております。また募集をさせていただきますので、その時はよろしくお願い致します。

その他、県下会長幹事会の連絡事項としましては、橿原RCからGSEに向けての各クラブの分担金の依頼ということで、これについては決まりですので、5万円お支払いすることになりました。第3回県下会長幹事会については、地区合同会長幹事会となりますが、これは奈良クラブのホストで6月12日に開催されるということが決まりました。

それともう1点、遷都1300年祭の幟についてですが、既に街に立っていると思いますが、白地に“せんとくん”の入ったものと、シンボルマークの大仏さんの手形のデザインのもので、協会より、県下で3500本（各ロータリアンに一人当たり5本）は無料で提供させていただきますので、できれば会社等に掲げて頂けますようお願い致します。一人5本で私共のクラブは約70名ですので、3500本位のMAXがあります。これを是非、希望の方に（掲出の）ご協力頂きたいと思っております。2種類（せんとくん、シンボルマーク）ございますので、記入を願いたいと思っております。それから、次年度（今年度にかかりますが）米山奨学生の受け入れということで、米山奨学生が決定しました。今年の4月～新しい米山奨学生として、「崔(チ)潯仁(ジュンイン)」さん、奈良女子大学文学部四回生です。この方を受け入れするという事で、履歴書、推薦状が届いております。この米山奨学生のカウンセラーとして、当クラブの多田実さんをお願いしたいと思っております。快く引き受けて下さいました。多田さん、よろしくお願い致します。それから、もう一点、これは地区からですが、2010-2011年度ガバナー候補者の推薦という事で、大津RCの川本英典さんという方を推薦しますのでクラブで公示をして下さい、ということです。

▼次項へつづく

発行日 / 2010年3月2日
2009-2010 / 32

Vol.31

No. 1497

HP: <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail: info@naraomiya-rc.jp



育てよう、人。

2009～10年度
第2650地区のテーマ
『育てよう人』

国際ロータリー第2650地区
ガバナー 富田謙三



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第32回 3月2日
通算1497回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
「国歌・我等の生業」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 会員卓話
「電話と私の歩み」
坂井宣之会員
「私の趣味ブラックバス釣り
ブラックバスってどんな魚！」
山中一晃会員
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第31回 2月23日
通算1496回

R.C.は出席から 1496回
● 会員数 69名
● 出席免除者数 21名
● 出席者数 54名
● 補填者数 -
● 出席率 84.3%

1494回の修正

● 会員数 69名
● 出席免除者数 21名
● 出席者数 55名
● 補填者数 4名
● 出席率 93.6%

小西クラブ管理運営委員長・副会長

本日状差しにご案内入れさせて頂いております情報集会の件です。非常にテーマが短くて理解に苦しまれた方もいらっしゃるかと思います。会長の方からも色々お話がありましたが、5月15日土曜日、平城遷都1300年祭に東京恵比寿ロータリークラブ・太宰府ロータリークラブをお招きして12:30～合同例会、その後14時から会場見学になっております。大いに盛り上げるためにはどのようにすれば良いのか、それをテーマとして四班にわかれて話し合いをして頂きたいな、と思います。奉仕の理想を追求するわれわれロータリアンとしてはやはりそれなりに満足した形で帰って頂きたいな、と思っておりますので、班長さんは会長、副会長、幹事、それと今回の件につきまして非常にご努力して奈良県下13クラブを賛同させた高野くん、彼が非常に一生懸命やってくれますので彼を班長にさせて頂いて、副班長が非常に浅い人たちにさせて頂きました。この四名の方にはきちんと訳を言って、色々な事をきちんと話しておりますので、何の心配もないのではないかと思います。よろしくお祈いします。それと、四班の3月12日（金）となっておりますが、お水取り最終（13日）の関係上、15日（月）に変更致します。班長、副班長、手配のほど、よろしくお祈いします。皆さん方に今日渡しております（平常遷都1300年祭の）ガイドブック、これが20日にできた最終のガイドブックでございます。これをよく中身を見て頂いて、参考にして頂いて情報集会の話し合いの時に色々な事を話し合っ頂けたらな、と思っております。

有井職業奉仕委員長

2月20日、京都の産業会館で職業奉仕セミナーに参加をしてまいりました。今年、ご入会頂きました4名の方にご出席を頂きました。山中さん、坂井さん、堀内さん、水野さん、多田廣さんと私でございました。10名出席するようにとの事でしたが、6名のみの参加でした。岡山県の元RI理事の渡辺バスターのお話を頂戴し、職業奉仕がもっともっとややくしくなってきたなあと思つて私は帰ってきたのですが、受講された皆さんはどのように感じられたのかな、と思います。しっかりと職業奉仕をやりなさいよ、というように言われて帰ってまいりました。またこれから皆さん、積極的に出席をして頂けたら有難いな、と思います。

高野社会奉仕委員長

今年も例年通り社会奉仕委員会が取りまとめをするということで、健康診断、人間ドックのご案内をさせて頂きます。また後ほど受付表を回させて頂きますが、場所は24号線沿いのメディカルセンター奈良、実施の時期ですが、4月～5月の間でご希望の方とそれぞれ個別に日時等詳細を詰めさせて頂きたいと考えております。例年半日ドックを受けて頂いているようですが、今回回させて頂いております冊子を見て頂きましたら分かりますが、脳ドック等も受診できるので、それもまた詰めさせて頂く際にご希望を言って頂けたら、と思います。

楠木ロータリー財団委員長

11月の財団月間には皆さんの絶大なご協力を頂きまして、一人\$200の目標を達成することができました。どうもありがとうございました。そこでまた皆様方をお願いしたいのですが、2月の第1週の例会で潮田国際奉仕委員長の卓話にありましたように、ロータリーとその協力団体とのポリオ撲滅に向けた20年間に渡る努力が実り、ポリオの撲滅まであと少しとなつて参りました。そこで、地区の方からポリオ撲滅に向けたロータリー\$2億にご協力下さい、ということで、報告を受けておりますので、3月末までに皆様方のご奉仕を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

多田廣ロータリー情報副委員長

今月の初めに会員満足度テストというアンケートをお配りさせて頂きました。昨年の末にも同じようなテストをお願い致しましたが、只今ご回答を頂戴しておりますのが15通でございます。恐れ入りますが、もし提出して頂けるなら、今週、来週中にご提出お願い致します。

会報・IT委員会より野上会員

パソコン教室のご案内です。2月25日にExcel初級、3月11日・18日にExcel応用ということで案内しておりました。10名ぐらいの方が出席されるということで、どうもありがとうございます。あと、10名位の方の出欠がついておりませんので、回覧を回しますので、よろしくお願い致します。

増井親睦活動委員長

4月11日の花見例会ですが、現在奥さま・お孫さまを含め92名の参加（予定）者を頂いております。お子様方に好かれるような企画を満載しております。まだまだ席はございますので、是非、×をうたれた方も奥さまにもう一度お声掛け頂いて、"一度一緒に船に乗って花を見ないか"とお誘い頂きますようお願い致しますので、よろしくお願い致します。時間もまだまだございますので、いつでも親睦委員会、私の方までご連絡をお願い致します。

 本日計 24,000円 累計 1,791,000円

土谷 宗一 君 地区大会 変更欠席のおわび

中條 章夫 君 39回目の結婚記念日に記念品をありがとうございます。永くつづいたものだと思います。妻に感謝いたします。

日吉 晴雄 君 先日誕生日のお祝頂き有難うございました。

平野 貞治 君 一寸っと嬉しい事がありました。箸尾さん、日吉さん、中井さん、飯田さん、山本さん、ありがとうございます。

今崎 和民 君 ニコニコに協力

富川 悟 君 森下さん、先週は大変お世話になりました。おかげで楽しい一時を過ごさせていただきました。又お願いします。

▼次項へつづく

コンピュータの使い道 中奥 雅巳

最近ではパソコンや携帯端末が普及し、一人に一台の時代になってまいりました。

会社にも必ずといっていいほど導入されています。

今から20年前ぐらいからどんどんと増えだしてきましたが、その時代はどちらかというと手書き伝票から活字伝票へ移行していくといった使い方が多く、コンピュータに合わせて仕事をしていったような傾向でした。手書きのほうが早いのに見た目の体裁があるのでコンピュータを入れている会社が多かったです。伝票発行と入力だけで相当な労力になって入力オペレーターを新たに雇い入れる会社も少なくはなかったです。本来は便利に使うものが機械に使われているようなイメージですね。

徐々に、インターネットの普及も追い風にだんだんと、当たり前のように会社にはコンピュータがあるようになってきました。

ただ、単にインターネットやメール用、伝票発行請求書用、配送用、図面用、経理用、デザイン用、特殊な業務用などと縦割りで別々に購入する傾向でした。もかしたら今でもその傾向は残っているのかもしれませんが。

あまりコンピュータも縦割りにすると効率が悪いのです。同じ内容を別々の機械で入力していたりすることもあったり、二度手間三度手間が見えないところにあるかもしれません。それらをつなぐことで入力や事務作業の手間を省き効率化を図る仕組みをつくるのが、コンピュータシステムなのです。

コンピュータシステム導入による日本での成功と失敗の代表的な事例を紹介いたしますと、皆さんご存知のアスクルなどはその典型的な成功事例だと思います。これは受注と物流との連携をコンピュータシステムによってオートメーション化を実現したものでインターネットが普及する前にFAXで来た注文を自動的に認識し、倉庫から当日出荷するというシステムでした。その後のインターネットの普及で飛躍的に実績を伸ばした事例です。その後は、同様の仕組みを採用しオフィスでのインターネット流通そのものが定着して行った魁でした。最近ではWEBビデオCDレンタルもその成功事例の一つで、勝手に受注から発送まで全自動のような仕組みで、人手は要らないし在庫切れも少なく済むし、拠点(店舗)をたくさん持つ必要はないし、経費を抑えることもできて、更にはお客さんがパソコンの画面でクリックするだけで店員さんと顔を合わす必要がないのも人気で、業績を伸ばされたと聞いています。

それとは逆に失敗事例の一つ紹介しますと、ある会社が総務でいろいろなデータをとってより効率的に事務作業(集計など)を出来るようにと導入したシステムです。実際データを入力していくのは営業や現場のスタッフなので、報告書を含めて入力する内容が多すぎるものでした。なかなか営業に出られないことが多くなり、営業の数字が伸びない状況になりました。ただ、集計グラフなどの見やすい資料が総務課から自動的に出力されて役員や上役はすぐ目にする事ができる状況になり、業績アップのための会議ばかり行われるようになったそうです。営業現場では、データ入力するだけで午前中、会議は夕方といった様子が営業成績は落ちる傾向だったそうです。システムを導入したことで経費は節約できても、肝心の業績が落ちていては駄目ですね。この事例が失敗だった原因は、総務課だけで導入を進めて営業や現場の意見をあまり聞かなかったからでしょう。聞いていたらそんな手間のかかることを勧めませんからね。少し業者に相談すれば、最近ではキーボードで入力しなくてもデータを入力できるものがたくさんできています。タッチパネル、手書き、バーコード、ICタグなど、このようなものを利用して手間を省いて簡素化していく仕組みもいろいろあったと思います。

このように導入を検討する部署だけで検討して現場のことをあまり考えずにシステム構築してもあまり良い効果にはならないことが考えられます。

規模が大きい小さいかの違いはあっても、我々の身近にも同じような事例がいろいろとあると思います。

コンピュータシステムとは、本来手間のかかる業務を簡素化し経費削減を実現することと、更には業績を上げる手助けをするものです。業者と十分相談しながら全体の流れを考えた上で導入を検討したほうが良い結果になると思います。

私は、コンピュータシステムの導入する仕事をしておりますので、ご検討の際には是非ご相談ください。導入以外にもアドバイザーのような仕事もしておりますので、気軽にお声掛けください。



例会変更

平城京ロータリークラブ

・3月25日(木)・・・定款第6条第1節Cにより休会。

・4月1日(木)・・・第二回家族親睦例会の為、例会場所変更。於：「菊水楼」(奈良市高畑町1130)点鐘18:30

※☒両日とも、ビジター受付は行いません。

あすかロータリークラブ

・3月25日(木)・・・桜井RCと合同夜間例会の為、時間変更。 18:00～ 於：橿原ロイヤルホテル

※ ビジター受付は平常通り、3月25日(木) 12:00～12:30 橿原ロイヤルホテルフロント横にて行います。

桜井ロータリークラブ

・3月24日(水)・・・あすかRCと合同夜間例会の為、日時・場所変更。

日時：3月25日(木) 18:00～ 場所：橿原ロイヤルホテル 「畝傍」の間

・3月31日(水)・・・職場訪問移動例会に変更。訪問先：高野山金剛峯寺及び高野山内各所見学

※ ビジター受付は24日(水)、31日(水)とも、12:00～12:30 例会場(桜井市まほろばセンター)にて行います。

大和郡山ロータリークラブ

・3月22日(月)・・・定款第6条第1節Cにより休会。

・4月5日(月)・・・定款第6条第1節Cにより休会。

※ 両日とも、ビジター受付は行いません。

「私の会社の過去と未来」堀内 眞治

昨年10月に入会させて頂きました堀内です。

入会して4カ月が経とうとしていますが、早くも私にこの卓話が回って参りました。入会すると新入会員の卓話があるとは諸先輩方からお聞きしていたのですが、なにを喋ろうかと昨日まで悩んでおりました。題名も電話で聞かれて、その場で即答したものなので、中身についても後付けになってしまっていますが、私で3代目になる私の会社の歩みなどを少し話して行きたいと思います。

私の祖父・堀内善治郎が、昭和の初めに、「シバ、ワリ木」販売を尼辻で開始致しました。これが始まりであります。

その後、燃料の炭を扱うようになります。その炭の取り扱いが多くなるにつれて、炭と共に車で運ばれてきた炭の粉を多量に廃棄するようになりました。折しも戦争に向かおうという時代、そんな勿体ないことは出来ない。そこで祖父は、それをもう一度固めて「だどん」という物にして販売を始めました。

その当時、祖父にはたくさんの娘たち（私の叔母さん達ですが）が居たので、人件費も不要で、学校から帰ったらすぐに工場の手伝いをした日々だった、と聞いています。

その製造販売も軌道に乗り、今度は「練炭、マメタン」の製造販売を行うべく許可を取る為に当時の監督官庁に通い、ようやく昭和20年4月1日に「大和練炭製造所」という会社を設立致しました。それからは山口県の宇部興産を始め全国より原料を仕入れ、リンテン機という機械で製造販売を行って居りましたが、大手の台頭により非効率的な製造販売は辞めて、卸、小売りを含めた販売のみに専念にしていきました。

今よりは遅いペースですが、時代の流れは確実に進みます。

病気で他界してしまった祖父に変わり父が会社を営むのと同じくらの時期に、家庭用に石油（灯油）や「ガスのカン詰」のようなプロパンガスが普及し始め、父もそちらにシフトし、社名もそれに伴い「有限会社奈良燃料商会」（代表取締役 堀内栄太郎）と改めました。その後は高度経済成長の中、順調に顧客数は伸びて行きました。

その販売に伴い、配管工事や水回りの工事などの依頼が増え、それに対応すべく、水道部を設立することになり、水道工事・管工事及び住宅設備工事を展開していきました。

私も、平成6年4月より会社に戻り、主にガス事業部で仕事をしておりましたが、平成10年の父の急死に伴い、平成11年6月より代表取締役に就任することになりました。水道事業の方は父が主に動かしておりましたので、分からないこともあり、皆様に教えて頂きながらここまで来ましたが、ようやく軌道に乗った次第です。

社名につきましても「有限会社奈良燃料商会」と堅苦しい名前より、地元で親しみのある「有限会社ホリウチ」に変更致しました。今では水回りを中心に、リフォーム事業も展開していけるようになりました。

現在の住宅設備を取り巻く燃料事情は多種多様になり、たくさんの選択肢がございます。その最たる例であるのは、ここ数年著しい伸びを見せて今後も増えて行くであろう、オール電化住宅の「エコキュート」です。これは普及も進み、皆様もご存知だと思いますので、ガス屋から見た、環境に優しくランニングコストの掛からない新商品を紹介させていただきます。

まず発表されたのが、（少し前からありますのでご存知の方も多いと思いますが、）「家庭用燃料電池エネファーム」です。エネファームとは「エネルギー」と「ファーム＝農場」を組み合わせた造語です。LPガスを改善し水素を取り出し、水素と酸素から電気と熱を作る事と、水と大地で農作物を作ることとはとてもよく似ています。自分のエネルギーを自分で作る。これからのエネルギーの考え方を、ファームという世界観により表現し、家庭用燃料電池は環境に優しい、というのがエネファームの説明です。

2005年に大規模実証時には1200万円を超えていた価格も、現在250万円まで下がってきましたし、現在（来年度も継続）国から最大140万円の補助金が出ます。それでもまだ100万円を超える訳ですから、普及にはまだ時間がかかりそうです。メーカーとっても今の生産台数を倍にすると、1台50万円～60万円になるので、2015年には達成したいと考えているようです。

もう一つは、最近発売になったハイブリット給湯器です。いわゆるガス給湯器と電気のエコジョーズの組み合わせ物で、メーカーによると、環境にも優しく省エネであり、省スペースでイニシャルコストもそれほど高くない（70万円位）と全てにおいて良いとされています。

この様に目まぐるしいスピードで日々新製品が開発されています。環境面においても、省エネルギーにおいても、皆様の使い方、心掛け次第だと考えます。流行りに乗るのではなく、各ご家庭の使い方を加味して、来る未来に備えましょう。私で良ければご相談に乗りますので、よろしくお願い致します。

これからもどうぞよろしくお願い致します。ご清聴有り難うございました。



平成22年2月20日（土） 職業奉仕講演会

出席者：有井、多田（廣）、
水野、堀内、山中、坂井



初めてSKIを履いたのは、志賀高原丸池SKI場。雪上に立った瞬間、微妙な傾斜方向に滑っていく恐怖感は今でも鮮明に覚えている。それから30年以上の月日が経ったが、1シーズンも空けることなくSKI場に通っている私。この週末、いつもの白馬に出かけたのであるが、気持ち悪いぐらいの暖かさ……。雪質は5月の連休並！おまけに山の上はガスでとてもSKIができる状態ではない((+_+)) それでも懲りずに何本か滑った。写真はガスが晴れた瞬間を狙ったものと、旬なので長野オリンピックで原田選手が大ジャンプを見せた白馬ジャンプ場（手前がノーマルヒル・奥がラージヒル）天気が良ければこんなに綺麗なんだけど。



A photograph of a tree heavily covered in white snow or frost, set against a blue sky with scattered clouds. The branches are intricate and white, contrasting with the deep blue of the sky. The overall scene is bright and wintry.



県内RC会長からの応援メッセージ

奉仕の心

12

平城遷都1300年祭

私たちのクラブは昭和51年に創立され、今年で31年目を迎えます。ロータリークラブ活動の基本は、会員相互の親睦（しんぐく）を図り、知己を得て、積極的に奉仕活動を行うことです。30年間さまざまな奉仕活動を通じて、地域社会に貢献させていたたいと思います。

今年度は特に、青少年の健全育成のためのプログラムに重点を置き、地元の中学校の地域支援本部とともに教育問題についての調議会を開催。アラビアのオマーン王国に学校を設立、学力世界ナンバーワンの生徒を育てた日本人女性スワダ・アル・ムタファアールさんを招いて「世界に認められた日本の教育」と題して語ってもらい

■ 奈良大宮ロータリークラブ ■

富川 悟会長

ました。

また「ネットの闇から子供たちを守る」と、携帯電話有害サイトの模擬体験を通じて、子供たちを守る知識を深めるためのセミナーも実施し、多数の保護者が参加しました。

私たちは奈良大宮ロータリークラブの活動エリアは、わが国最初の本格的首都「平城京」があった場所・平城宮跡に隣接した地域となっています。平城遷都1300年祭は、私たちの地帯で開催される100年に一度のビッグイベントです。

クイイベントと言えます。この期間中、「日本のはじまり奈良」をテーマにした、多岐にわたる文化・芸術的イベントが実施されます。国内外から、奈良には多くの観光客が訪れることになっています。

この機会に、ぜひ会員が活躍の場を拡大し、奈良の発展に貢献していただき、何卒足元を運んでもらえるよう、私たちも平城遷都1300年祭積極的に参加、協力し、このビッグイベントの大成を願って盛り上げていきたいと思っています。

「地元」の魅力発信へ

毎週水曜掲載

●会報・IT委員会／谷川千代則 藤井正勝 野上利樹 ●Webmaster／谷川千代則